

SAN-40BK1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- お使いのBSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)の取扱説明書を、あわせてご覧ください。
 - 本機は、BSアナログ放送(従来のBS放送)とBSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できます。
 - BSアナログ放送を受信できれば、アンテナの向きを変えずに、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送も受信できます。



JEITA デジタルハイビジョン受信マークは、(社) 電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

警告

火災

感電

下記の注意を守らないと**感電・落下により死亡や大けが**の原因となります。

危険な場所での取り付け及び危険をとまなう作業はかならず専門業者に依頼する

禁止

屋根の上や高所のベランダの外側、壁面など滑り落ちたら危険です。また、電線のそばの設置も感電の原因となり危険です。

高所での取り付け時、本体や部品類の落下に注意

注意

落下により下にある物を壊したり、下にいる人にあたって死亡や怪我をさせることがあり危険です。

雷が鳴り出したら本機には触れない

接触禁止

感電の原因となります。

天候の悪い日は取り付け作業は行わない

禁止

風で部品が飛ばされたり人や物に危害を加えたり、雨や雪のため滑りやすく転んで怪我をするなど危険です。

アンテナの表面を加工しない

禁止

アンテナの表面にシールを貼ったり、表面を磨いたりしないでください。アンテナが太陽光を集めて反射してしまい、コンバーターを焦がすなど火災の原因となります。

組み立て時、ネジ、ボルト類は確実にしめる

ゆるいと、ずれたり倒れたりして怪我の原因となります。

注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

ケーブルは引っ張らない

禁止

無理に引っ張ると接続されているアンテナやチューナーなどが倒れ、怪我の原因となることがあります。

組立時、本機の取り扱いには注意する

注意

本機は金属など固いものでできています。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。怪我をしたり、本機が破損したりすることがあります。また、金属部分は角を取るなどして、指先などに怪我をしないよう配慮した加工がされていますが、手荒に扱うと思わぬ怪我の原因となることがありますので、ご注意ください。

手順1:

セット内容を確認する

箱を開けたら、BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-40BK1のセット内容が、すべてそろっているか確かめてください。
() 内の数字は個数です。

アンテナ反射鏡	ボルト (ベランダ取付金具用) M8×130mm (2)、ナット (2)
	ボルト (アンテナ取付金具用) M6×80mm (4)、ナット (4)
ベランダ取付金具 (1)	ケーブル用クランパー (2) BSコンバーターアーム部にサテライト用同軸ケーブルを固定するときに使います。
アンテナ取付金具 (1)	サテライト用同軸ケーブル (15m) (1)
スパナ (1)	コンバーターアーム (1)
アーム用ネジ M5×20mm (2)	

手順2:

設置場所を決める

BS放送をお楽しみいただくために、アンテナを衛星の方向に合わせて正しく設置する必要があります。

アンテナ使用地域について

雨の影響がない状況下では、地図の□で囲った地域で、このアンテナで受信できます。
■の地域では50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1のご使用をおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

110度CSデジタル放送受信についてのご注意

- 九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分なときに、韓国が利用している衛星から干渉を受けることがあります。BS放送は受信できるのに、110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかにだけ (アンテナの端が約5～10mm動く位) 西に向けると110度CSデジタル放送も受信できるようになります。
- 対馬や五島列島では、韓国が利用している衛星の干渉が強いため、40cm径のアンテナは使えません。50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1をお使いください。

1

以下の条件にあう設置場所を選ぶ。

- 南西を向いている (午後2時ごろの太陽の方角)。
- 電波が来る方向 (南西) に建築物や樹木、電線がない。
- 人の通行の妨げにならない。

2

アンテナを南西 (午後2時ごろの太陽の方角) に向けて設置できるか確認する。

パーフェクトTV!サービス用通信衛星 (JCSAT3) (東経128°)

スカイサービス用通信衛星 (JCSAT4) (東経124°)

BS (東経110°)

また、アンテナは取り付け正面より左右60°の範囲で角度を調整できます。

3

設置場所を選ぶ。

付属の取付金具でベランダなどに取り付けます。屋根や庭などに設置する場合は、別売りの部材と組み合わせて設置できます。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

付属のベランダ取付金具で鉄製の手すりやアンテナポールに固定する場合

水平に取付金具を固定する方法

2本の手すり (厚み最大80mm) にはさんで固定するとき

アンテナポール (直径25.4～42.7mm) に固定するとき

垂直に取付金具を固定する方法

1本の手すり (厚み最大80mm) に固定するとき

付属以外の別売りアクセサリなどで設置する場合

雨や雪の影響について

- BS放送は、雪がアンテナに付着したり、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったりすると、電波が弱くなります。デジタル放送の場合、多少の雨では画面状況に影響はありませんが、強い雨のときは突然画面が映らなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。
- 雪が付着して画面の映りが悪くなったときは、アンテナの反射鏡を傷つけないように注意しながら、雪を取り除いてください。
- 台風などの強風の際は、アンテナや取り付け金具にゆりや異常がないかを確認してください。

手順3:

ベランダ取付金具を取り付ける

ここでは付属の取付金具をベランダの欄に固定してアンテナに取り付ける方法を説明します。別売りの部材を使ってアンテナを取り付けるときは、別売り品の取扱説明書をご覧ください。

取り付ける前に

この取扱説明書をよく読んでから、作業を始めてください。お使いのBSチューナー (またはBSチューナー内蔵テレビなど) の取扱説明書を、合わせてご覧ください。また、プラスドライバーを用意してください。

安全のために、次のことを必ずお守りください！

- アンテナを取り付けるときは、チューナーの電源コードを壁のコンセントから抜いてください。アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。チューナー本体の電源が入っていても、壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。
- アンテナを取り付けるのに危険や不安を感じるときは、お買い上げ店や業者に取り付けをご依頼ください。
- 風の強い日や、雨、雪などの天候の悪い日は、危険です。取り付け作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないように注意してください。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは、回さないでください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合や自治会などに必ずご確認ください。

ご注意

ベランダに取り付ける場合のご注意

- 2階以上のマンションやアパートなどベランダの外側に出る部分に取り付けるときは網などを付けて、部品や工具の落下を防ぎ、充分に注意して取り扱ってください。
- ベランダの耐久力については、工事施工者にご相談ください。ベランダがアルミ製の場合、強度などによって取り付けられないことがあります。また、鉄製その他の場合は、腐食していないことを確認してください。取り付けにあたっては、安全性や信頼性を充分考慮してください。
- スパナは落下防止のため、ひもなどでベランダに結んでおくなど安全です。

ベランダ取付金具を固定する

1

ボルト (ベランダ取付金具用) を2か所に差し込む。

水平に取付金具を固定する場合

ボルトは欄の外側に欄に一番近いネジ穴に締めます。

地面と水平になる位置に

ボルトは欄の外側に欄に一番近いネジ穴に締めます。

2

ナットをボルトに仮止めする。

ナットは2本のボルトそれぞれに、矢印の向きに回して取り付けてください。いったん仮止めをして取付金具が地面と水平の位置にあるか確認してください。

3

スパナでボルトをしっかり和締める。

ナットはすべり止め加工されているため、ボルトを締めるだけで固定できます。

手順4: アンテナを組み立てる

同軸ケーブルをコンバーターアームにつなぐ

ご注意

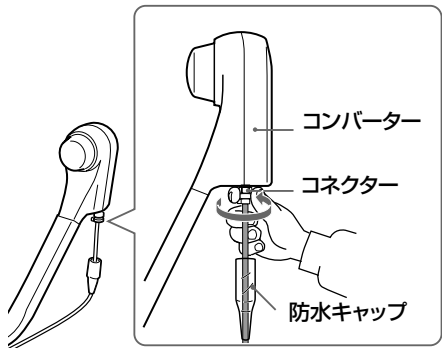
高い周波数の信号を伝送するため、必ず付属または別売りのサテライト用同軸ケーブルを使ってください。それ以外のケーブルをつなぐと故障の原因となります。付属ケーブル（約15m）の長さが合わないときは、別売りのサテライト用同軸ケーブルをお使いください。

ショート防止のため、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）やブースターなどの電源コードは、壁のコンセントから抜いてください。
アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていても、それらの電源コードが壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。

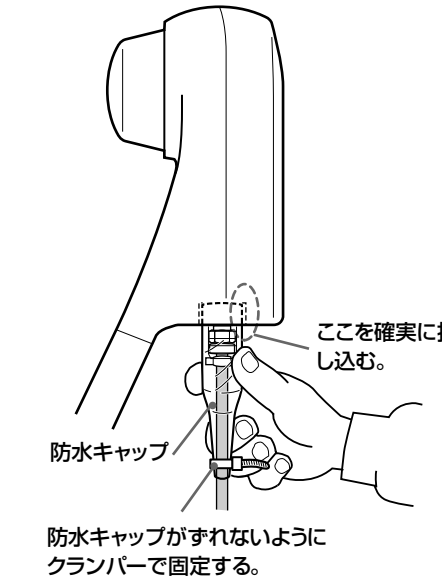
1 サテライト用同軸ケーブルとコンバーターをつなぐ。
防水キャップがついている側のコネクターを手でしっかりと締めてください。

ご注意

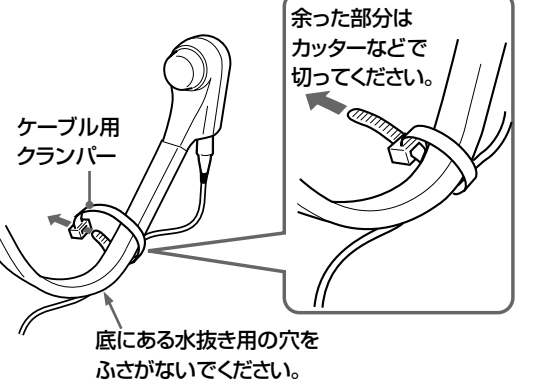
工具で取り付けると、締めつけ過ぎてケーブルやコンバーター内部を破損することがあります（締付トルク:2N・m (20kgf・cm) 以下）。



2 防水キャップを確実に押し込み、下側をクランパーで固定する。
防水キャップがずれていると、雨水が入って受信不良になります。



3 ケーブル用クランパーでケーブルを固定する。



ご注意

- ケーブル用クランパーは使いきりです。一度固定するとカッターなどで切らないとはずせません。
- 同軸ケーブルをベランダの角など尖ったところにケーブル用クランパーで固定しないでください。
同軸ケーブルの内部で断線することがあります。

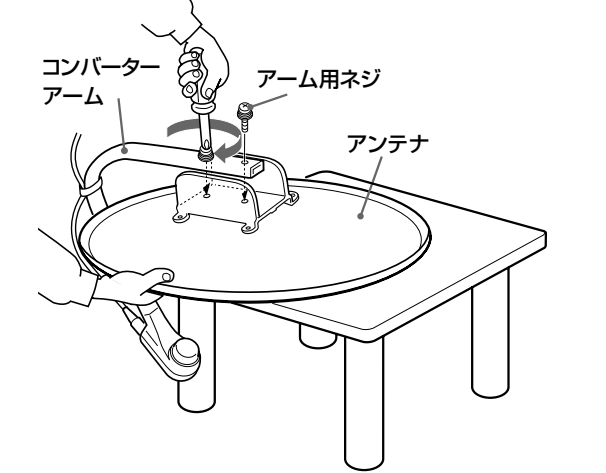
4 サテライト用同軸ケーブルを室内に引き込む。

ご注意

室内への引き込みについて、壁などに加工が必要なときは、必ず専門業者や工事業者に依頼してください。また、マンションやアパートなどによっては、部屋の加工などに規制のあるところがあります。管理組合や自治会などに必ずご確認ください。

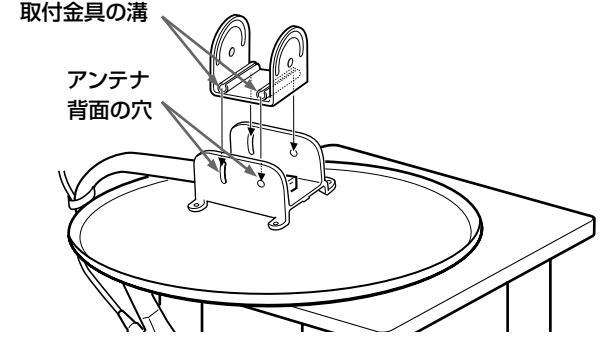
コンバーターアームをアンテナに取り付ける

プラスドライバーを使って、アーム用ネジで2か所をとめる。



アンテナにアンテナ取付金具を取り付ける

1 アンテナ背面の穴と取付金具の溝をあわせる。



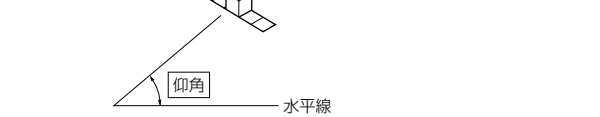
2 ニつの穴と溝にボルト（アンテナ取付金具用）を差し込み、ナットを取り付ける。

ボルトが取付金具の溝に正しく入っていることを確認してください。

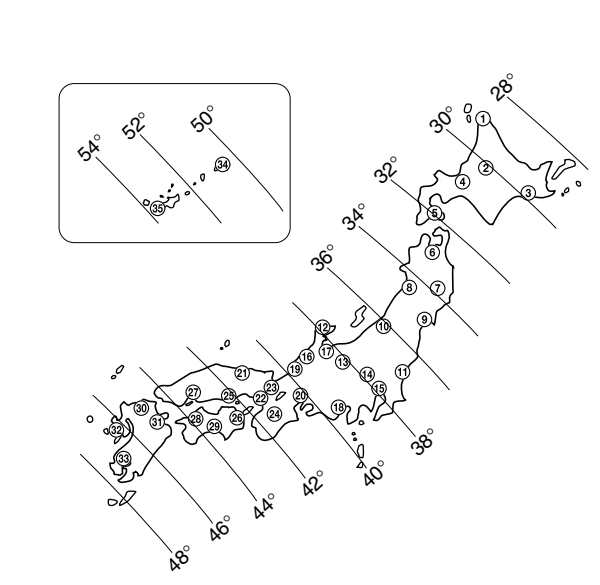


アンテナの仰角（上下角度）を合わせる

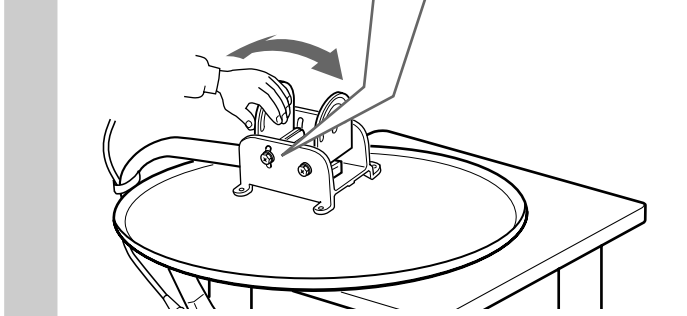
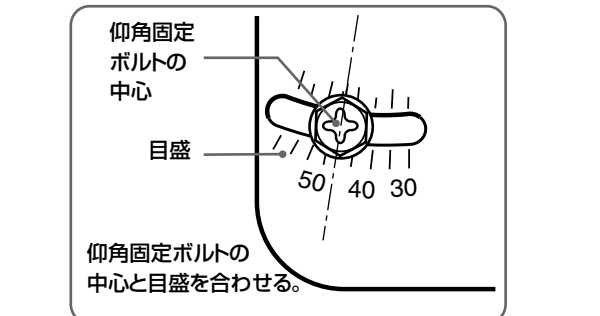
仰角（上下角度）は、地面に対してBSを仰ぎ見る角度です。



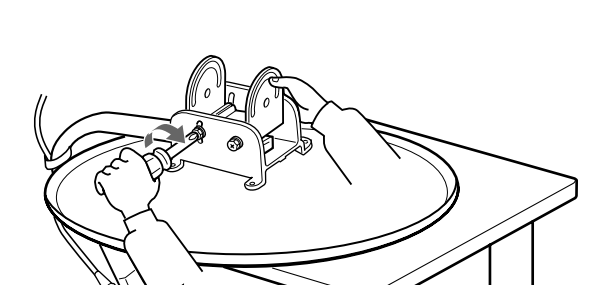
1 仰角固定ボルトをゆるめて、下の図表を目安にして、仰角を合わせる。
仰角固定ボルトの中心と目盛を合わせてください。



地域	仰角(°)	地域	仰角(°)	地域	仰角(°)
① 稚内	29	⑩ 長野	38	⑳ 岡山	42
② 旭川	30	⑪ 前橋	38	㉑ 徳島	42
③ 釧路	30	⑫ 東京	38	㉒ 広島	43
④ 札幌	31	⑬ 金沢	39	㉓ 松山	44
⑤ 函館	32	⑭ 富山	39	㉔ 高知	44
⑥ 青森	33	⑮ 静岡	39	㉕ 福岡	45
⑦ 盛岡	34	⑯ 福井	40	㉖ 大分	45
⑧ 秋田	35	㉗ 名古屋	40	㉘ 長崎	46
⑨ 仙台	35	㉙ 鳥取	41	㉚ 鹿児島	47
㉑ 新潟	36	㉛ 大阪	41	㉜ 名瀬	51
㉒ 水戸	37	㉝ 京都	41	㉞ 那覇	54
㉓ 輪島	38	㉟ 津	41		



2 プラスドライバーでボルトを締める。
プラスドライバーを矢印の方向に回してください。

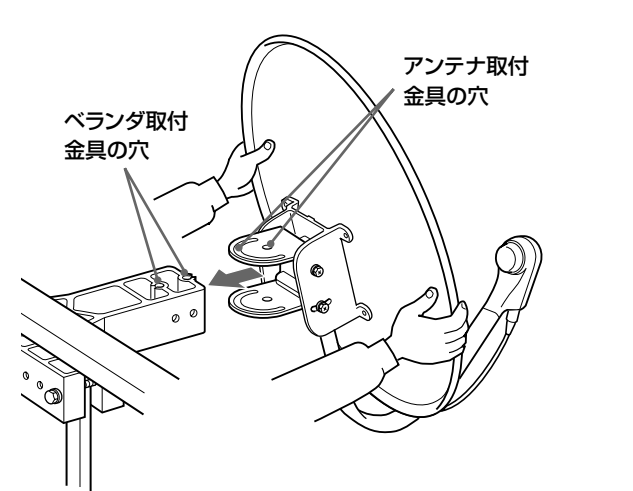


手順5: アンテナを取り付ける

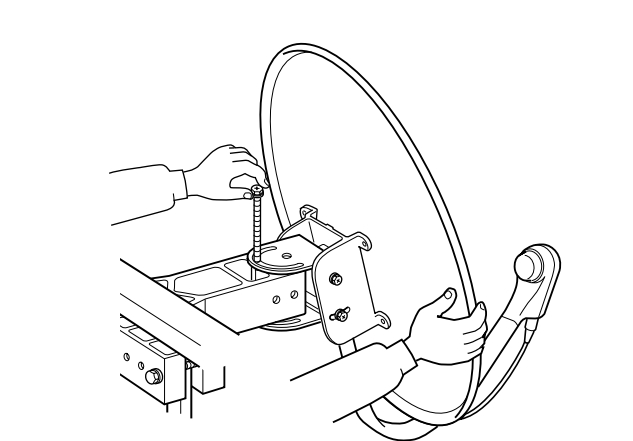
アンテナをベランダ取付金具に取り付ける

アンテナやボルトが落下しないように、充分気を付けて取り付けてください。

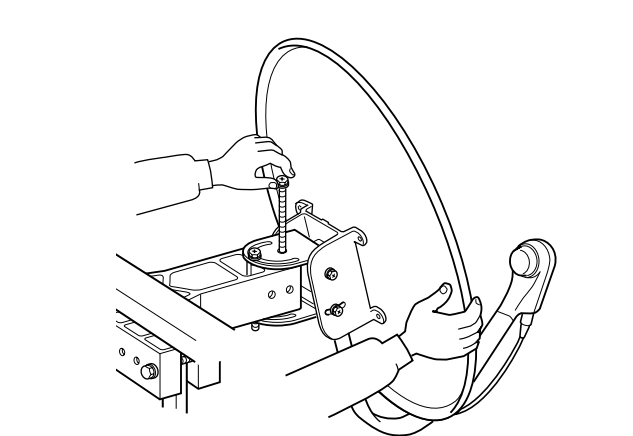
1 アンテナ取付金具の穴とベランダ取付金具の穴をあわせる。



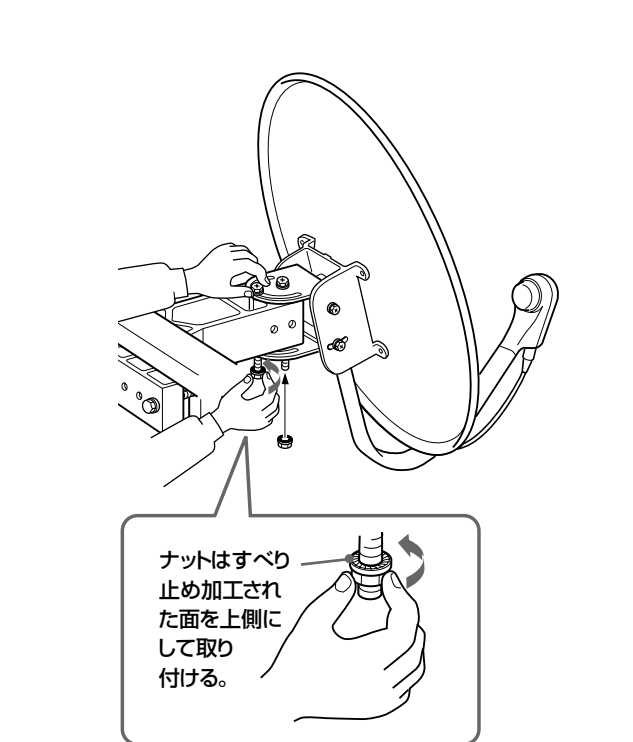
2 ベランダ側の穴にボルト（アンテナ取付金具用）を、下までしっかり差し込む。



3 アンテナ側の穴にボルト（アンテナ取付金具用）を、下までしっかり差し込む。



4 それぞれのボルトにナットを取り付ける。



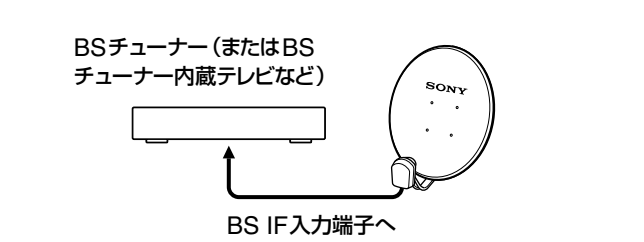
手順6: アンテナの角度を調整する

1 BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の電源コードが、壁のコンセントから抜いてあることを確認する。

△注意

アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていても、それらの電源コードが壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。

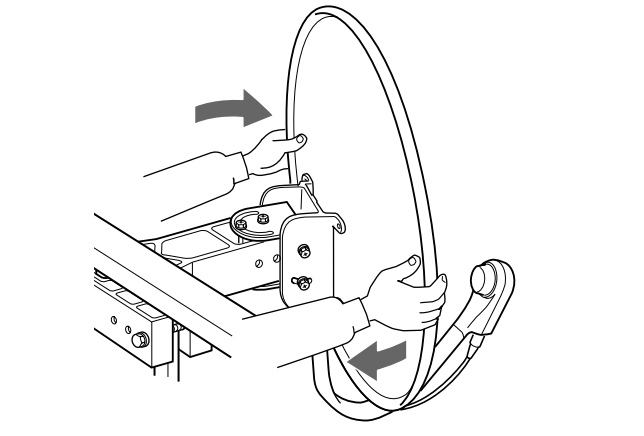
2 アンテナとBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）をつなぐ
接続のしかたは、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。



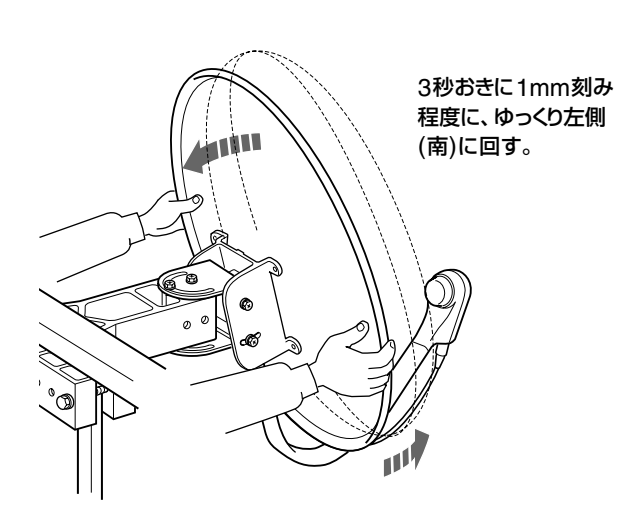
3 BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の電源コードをつなぎ、電源を入れ、BS放送の受信設定をし、BSアンテナレベルの設定画面を表示させる。

詳しくは、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

4 アンテナをいったん右側（西）に向ける。

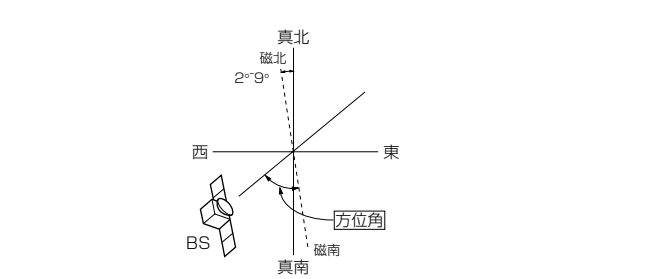


5 アンテナをゆっくりと左側（南）に回して、受信レベルが大きくなる方向に向ける。



BSは、ほぼ南西の方向（午後2時ごろの太陽の位置）にあります。

方位角（左右角度）は、方位磁石の示す南（磁南）とBSとの間の角度です。お住まいの地域の方位角（左右角度）は、下記の表を参照してください。



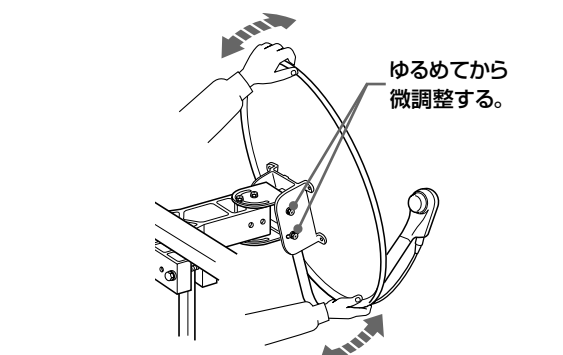
地域	方位角(°)	地域	方位角(°)	地域	方位角(°)
① 稚内	50	⑩ 長野	49	⑳ 岡山	44
② 旭川	51	⑪ 前橋	50	㉑ 徳島	45
③ 釧路	53	⑫ 東京	51	㉒ 広島	42
④ 札幌	50	⑬ 金沢	47	㉓ 松山	43
⑤ 函館	50	⑭ 富山	48	㉔ 高知	44
⑥ 青森	50	⑮ 静岡	50	㉕ 福岡	40
⑦ 盛岡	51	⑯ 福井	46	㉖ 大分	41
⑧ 秋田	50	㉗ 名古屋	48	㉘ 長崎	39
⑨ 仙台	51	㉙ 鳥取	44	㉚ 鹿児島	41
㉑ 新潟	49	㉛ 大阪	46	㉜ 名瀬	39
㉒ 水戸	51	㉝ 京都	46	㉞ 那覇	38
㉓ 輪島	47	㉟ 津	48		

ご注意

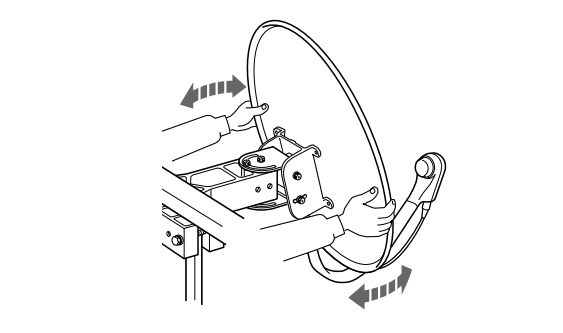
アンテナは左右60°の範囲で調整できますが、調整範囲内で受信できない場合は、仰角固定ボルトをゆるめて仰角を調整してください。それでも受信できない場合は、設置場所を変えるか、別売りの部材をお使いください。

6 受信レベルが少しでも大きくなるように、アンテナの仰角（上下角度）と方位角（左右角度）を微調整する。
受信レベルの数値は、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

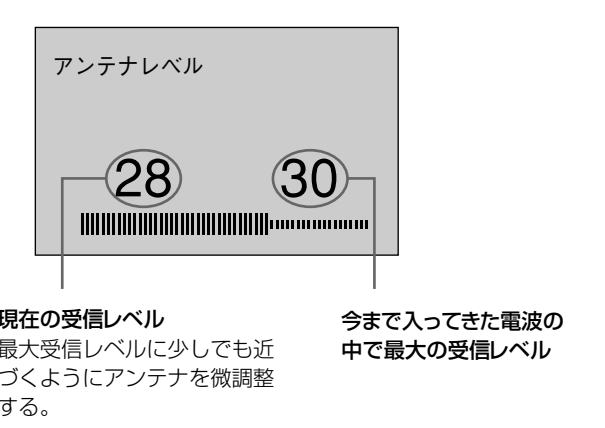
仰角（上下角度）の微調整のしかた



方位角（左右角度）の微調整のしかた



受信設定画面例

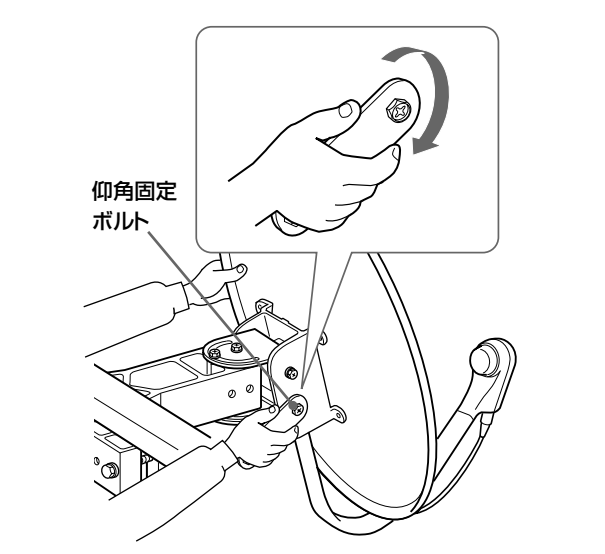


BSデジタル放送のアンテナレベルについて
BSデジタル放送の場合は、多少電波が弱くても画面や音声がかたたりすることがないため、映っている画面がいくら良くても、レベル自体が最大になっているとは限りません。そのため、受信中のアンテナレベルが最良のレベルで設置できるようにするために、次のことをしてください。
• コンバーターに、濡らしてきつく絞った薄い布（布巾など）で覆いをかけた上でアンテナレベルを調整し直してみる。（雨天時を想定した設定です。）

7 アンテナが動かないように押さえながら、仰角固定ボルトとボール固定ボルトをスパナでしっかり締める。

アンテナが動いて、アンテナレベルが変わってしまったときは、再び手順6と7を行って、微調整してください。

スパナを矢印の方向に回して締めます。



ご注意

- 強風によってアンテナが動いて受信レベルが下がり、受信状態が悪くなる場合があります。このときは、天候が回復した後、再びアンテナの向きを調整し直してください。
- 九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分なときに、韓国が利用している衛星から干渉を受けることがあります。BS放送は受信できるのに、110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかだけ（アンテナの端が約5～10mm動く位）西に向けたと110度CSデジタル放送も受信できるようになります。
- 対馬や五島列島では、韓国が利用している衛星の干渉が強いため、40cm径のアンテナは使えません。50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1をお使いください。

アンテナのお手入れについて

- アンテナの反射鏡を固いものでこすったり、傷つけたりしないでください。
- アンテナの反射鏡の汚れは、水またはうすい中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
次の点に注意して、もう1度お調べください。

- サテライト用同軸ケーブルは、正しく接続されていますか？
- BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）のコンバーター用電源は正しく設定されていますか？
- アンテナは正しく組み立てられていますか？
- BSの方向に障害物はありませんか？
- アンテナは正しくBSの方向を向いていますか？

それでも具合が悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソーサーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
型名：BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-40BK1
故障の状態：できるだけくわしく
お買い上げ年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

主な仕様

BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-40BK1

アンテナ形式	オフセット型/パラボランテナ
受信周波数範囲	11.7～12.75GHz
受信偏波	右旋円偏波
性能指数 (G/T)	13.1dB (標準)
アンテナ利得	32.8dB (標準)
開口効率	77%
ビーム半値角	4.0°
反射鏡径	400mm
BSコンバーター雑音指数	0.6dB (標準)
BSコンバーター利得	54±5dB
位相雑音	～60dB以下 (1kHz)
ローカル周波数	10.678GHz
出力周波数	1022～2072MHz
出力構造	F型75Ωコネクター
出力VSWR	2.0以下
使用温度範囲	－30～＋50℃
耐風速	50m/s
電源電圧	DC 15V (出力端子から供給)
消費電力	1.5W
外形寸法 (幅/高さ/奥行)	410×541×590mm
本体質量	約1.5kg

付属品

- サテライト用同軸ケーブル(15m) (1)
- スパナ (1)
- ケーブルクランパー (2)
- 取扱説明書 (1)
- 保証書 (1)
- サービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)

ソニー株式会社	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ		
●ナビダイヤル	☎0570-00-3311	受付時間： 月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
●全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます		
●携帯電話・PHSでの利用は	☎03-5448-3311	
●Fax	☎0466-31-2595	